

シクラメンで最優秀賞

COMMENDATION

千葉浩一さん 仲間とつかんだ10年目の栄光

藤沢町黄海



「第36回東北鉢物生産組合品評会」(同組合主催)は11月29日、仙台市で行われ、出品された全16部門217点の頂点である最優秀賞に藤沢町黄海の千葉浩一さん(48)が栽培した6寸のシクラメン「シューベルト」が選ばれました。昨年は気温が高く、栽培に苦労した生産者も多かった様子。千葉さんは「県内の生産者で岩手鉢物研究会を組織し、情報や技術を共有しながら栽培を続けてきました。みんなで手にした栄光です」と互いに刺激し合う仲間の存在を称えながら、受賞を喜びました。千葉さんがシクラメンの栽培を始めたのは10年前。現在、10アールのハウス



最優秀賞を受賞したシクラメン「シューベルト」(左)と賞状(右)

で4000鉢を栽培しています。「毎年、同じ時期に、同じ高品質なものを作り続けたい」と毎日の管理を欠かしません。「水かけ10年といわれるほど栽培が難しいシクラメン。ようやく一人前になれたかな」と新たな苗に目を向けます。品評会では、葉の枚数の多さや花の大きさなど、全体のバランスが審査されました。市内の入賞者は次のとおり(敬称略)。

▼ポインセチアの部「プリンセチア」佐々木登(花泉町花泉)▼シクラメンの部4.5寸以下「ミニシクラメン」佐々木和好(秋荘)▼シクラメンの部5寸「オーロラ」佐藤修司(厳美町)

藤井つるさん



ふじい・つる
■誕生日_大正2年3月1日
■住所_花泉町金沢
■撮影日_3月1日
■場所_自宅

夢を持ち続け、大好きな民謡の師範に

つるさんは、23歳で誠さんと結婚し、子8人、孫6人、ひ孫4人がいます。家事や子育ての傍ら裁縫の仕事をしてきました。民謡が好きで、67歳で師範の資格を取得し、民謡教室を開きました。つるさんの家からはいつも歌声が聞こえてきていたといいます。夢を持ち、前向きに何でも挑戦し続けてきました。

鈴木トヨミさん



すずき・とよみ
■誕生日_大正2年3月14日
■住所_大東町沖田
■撮影日_3月14日
■場所_自宅

肉類を控えることが健康の秘けつ

トヨミさんは、19歳で潔之さんと結婚し、子5人、孫14人、ひ孫14人がいます。農業に従事していたトヨミさん。大きな病気やけがもなく、90歳まで稲刈りをしていたほど足腰が丈夫。今も天気が良ければ外に出て、庭や畑の草取りをします。長生きの秘訣を伺うと「肉類を食べないことかな」と話してくれました。

安倍みつさん



あべ・みつ
■誕生日_大正2年3月25日
■住所_東地主町
■撮影日_3月17日
■場所_ほうりょう会館(樋渡)

くよくよせず、穏やかに日々を過ごす

みつさんは、22歳で栄太郎さんと結婚し、子5人、孫10人、ひ孫10人がいます。茨城県水戸市出身のみつさん。色とりどりの大好きな花を植えたり、内職で着物などの裁縫をしました。週に一度のデイサービスでは、歌を歌うなどして楽しめます。くよくよせず、穏やかな気持ちでいることが長寿の秘けつです。

千葉イサヲさん



ちば・いさを
■誕生日_大正2年1月25日
■住所_町浦
■撮影日_1月25日
■場所_ホテル武蔵坊(平泉町)

丈夫な体を持ち、好きな歌を口ずさむ

イサヲさんは、18歳で久男さんと結婚し、子4人、孫12人、ひ孫14人がいます。足が速く、裁縫が得意でした。おとし、大腿骨回転部骨折で入院手術をするも、リハビリの努力で今は杖も使わず歩けるほどに回復。昔から体は丈夫で、大きな病気とは無縁だといいます。歌が好きで、よく口ずさんでいます。

小笠原キヨシさん



おがさわら・きよし
■誕生日_大正2年2月25日
■住所_藤沢町藤沢
■撮影日_2月25日
■場所_老健ふじさわ(藤沢)

料理が好きで、挑戦する気持ちを忘れない

キヨシさんは、23歳で八十二さんと結婚し、子1人、孫3人、ひ孫10人がいます。学校で給食調理の仕事をするなど、料理が好きなキヨシさん。目が不自由になるも、挑戦する気持ちは変わらず持ち続けているといいます。常に楽しいことを考え、くよくよせず、前向きに生活することが長寿の秘けつです。

那須正四さん



なす・しょうし
■誕生日_大正2年2月26日
■住所_大東町摺沢
■撮影日_2月27日
■場所_自宅

田畑仕事で体を鍛え、好きなことに夢中

正四さんは、23歳で愛子さんと結婚し、子5人、孫14人、ひ孫12人がいます。東京の企業に十数年務め、帰郷後は農業に従事。花が好きで菊なども植えていました。両国国技館に足を運ぶほどの相撲好き。無口な正四さんは、孫に好かれ、よく一緒に出掛けていました。毎日決まった量の酒を飲むのが日課です。

佐藤ハツエさん



さとう・はつえ
■誕生日_大正2年1月25日
■住所_厳美町
■撮影日_1月25日
■場所_けいせん(平泉町)

しっかり者で、百姓一筋で働いた

ハツエさんは、18歳で幸佐さんと結婚し、子3人、孫9人、ひ孫15人がいます。百姓一筋で働き、しっかり者のハツエさん。山菜採りが楽しみで、近くの山へよく出かけました。手先が器用で、編み物を得意としていました。テレビやビデオ観賞を好み、替え歌を歌うなどして周囲の人を笑わせています。

24年度中に市内で百歳を迎えた人は、39人。25年度は、39人を越す誕生予定者がいます。「いくつになっても笑顔でいられる」そんな元気な年の取り方をする人が古里には大勢います。人は一人では生きていきません。家族や地域の人たちと支え、支え合って迎えた百寿のお祝い。大正、昭和、平成——。101年目の月日を歩み始めた7人を紹介します。

重ねた歲月刻んだ年輪 百年目の寿

